

# 富士山憲章 NewsLetter



No.133



奥庭からの富士（令和2年10月20日）

写真提供：山梨県富士山レンジャー

## 富士山憲章山梨県推進会議 (富士山ボランティアセンター)

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町）、2つの恩賜林組合（富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合）で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っております。

## 富士山憲章国道清掃キャンペーン

本年度の「富士山憲章国道清掃キャンペーン」は、認定特定非営利活動法人富士山クラブが実施する「ぐるり富士山風景街道一周清掃2020」と連携を図るなかで10月17日(土)に実施しました。

今回の国道清掃キャンペーンは新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より規模を縮小しての実施となりました。当日は雨が降りしきる中、旧上九一色中学校付近の清掃活動を行いました。回収したゴミは、可燃ごみ320kg、不燃ごみ410kg、合計730kgものぼりました。

今後も、世界遺産である美しい富士山を後世に引き継いでいくため、富士山憲章の普及・定着を図る活動を継続していくとともに、富士山の環境保全に向けて、一人ひとりが積極的に行動できる取り組みを進めて参ります。



参加者全員での集合写真



清掃活動のようす



令和2年度富士山エコトレッキングにて富士山レンジャーの解説を聞きながら散策する参加者の方々

## 令和2年度富士山エコトレッキング

「富士山にゴミを持ち込まない・捨てない・気づいたゴミは拾う」の主旨のもと開催している富士山エコトレッキング。今年度は10月24日(土)に実施しました。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より少人数での開催となりましたが、山梨県内外から24名の方々にご参加いただき、晴れ渡る秋空のもと、富岳風穴、青木ヶ原樹海周辺の散策と清掃活動を行いました。当日は短い時間ではありましたが、青木ヶ原樹海の成立や植物相を学びながら、富士山の自然や歴史を感じることができました。また散策後に行った清掃活動では、可燃ごみ20kg、不燃ごみ10kg、合計30kgものごみを回収することができました。

## 富士山環境保全募金 寄付受納式

令和2年11月6日(金)、マックスバリュ東海株式会社様より富士山環境保全募金への寄付金の贈呈式が行われました。

マックスバリュ東海株式会社様におかれましては、環境保全活動など広く社会貢献活動を行っており、その一環として平成17年より毎年富士山環境保全募金への寄付をいただいております。

寄付金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させていただきます。



マックスバリュ東海株式会社 長谷川マネージャーと  
富士山憲章山梨県推進会議 本田事務局長



# 第18回

## 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～

### 作品大募集

#### 募集期間

令和2年11月10日(火)～

令和3年1月15日(金)消印有効

美しい富士山を守り、未来へ引き継いで行くために。  
富士山あての年賀状を全国から募集します。

#### 応募規定

- ・ 年賀状として創作されていること。(新年を祝う気持ちが表されている等)
- ・ 富士山のイラストと富士山へのメッセージが書き添えられていること。
- ・ 応募作品は1人1点のみ。
- ・ 郵便はがき、または同サイズ(100mm×148mm)の用紙を使用すること。
- ・ 画材や画法は自由。展示することを想定し平面な作品に限る。
- ・ 写真や既製のイラストの使用は不可。応募者本人が著作権を所有し、未公開のデザインに限る。
- ・ はがきのあて名面に以下の応募者情報を明記すること。  
①氏名②年齢(学校名/学年)③住所④TEL⑤募集を知ったきっかけ

#### 審査

入選200点を選出し、その中から入賞作品20点(最優秀賞、優秀賞、審査員長賞、審査員特別賞、企画力賞、表現力賞、メッセージ賞)を決定します。

#### 発表

2月中旬に富士山ボランティアセンターのホームページで入賞作品を発表します。  
また、入賞及び入選者へは、賞品・記念品の発送をもって通知します。  
※選外の方へは通知しません。

#### 応募先 問い合わせ

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1  
(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)

富士山ボランティアセンター「富士さんへ謹賀新年」係

TEL:0555-20-9229

URL:<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>

詳細については、富士山ボランティアセンターHPにてご確認ください。



ナラ枯れ調査への協力

9月からは、巡回ルートにあるナラ枯れの調査に協力しています。ナラ枯れとは、ミズナラやコナラなどが「カシノナガキクイムシ」という虫が媒介する「ナラ菌」によって枯れてしまうものです。特別保護地区の大室山付近のミズナラの大木をはじめ、立ち枯れし始めた木が北麓地区にも見受けられます。



ナラ枯れ

ナラ枯れの被害により大量に木が枯れると、土砂崩れ、倒木や落枝による被害、地域の生態系への影響、景観へのインパクト等の問題が懸念されます。レンジャーも引き続き調査に協力をしていきたいと思えます。

外来植物の除去作業

毎年河口湖畔にてアレチウリ一掃作戦実行委員会の主催で数回行われる、アレチウリ駆除活動ですが、今年はコロナ禍のため一般の参加者は募らざるに関係者のみで実施されました。レンジャーは5月30日と8月27日の2回参加しました。湖畔にはびこり在来植物の生育環境を奪うアレチウリをたくさん駆除しました。

また、山梨県みどり自然課主催で8月25日に実施された外来植物除去作業にも参加しました。研修後、スバルライン五合目の駐車場にて、在来の植物との交雑などを防ぐべく、本来そこになかったヨモギ、バッコヤナギなどを除去しました。(なお富士山の五合目より上は国立公園の特別保護地区のため、外来種であっても許可なく植物を抜くことは禁じられています。)



アレチウリ駆除活動  
河口湖畔にて

夏の五合目巡回

今夏、富士山は開山されなかったため、いつものように八合目付近までの登山道を巡回することはありませんでした。五合目管理センターの前で「登山道閉鎖」のカードを持って訪れた人に声をかけたり、泉ヶ滝手前のゲートまでの道や御中道等五合目を中心に巡回を行いました。



登山禁止の啓発  
五合目総合管理センター前

例年よりも梅雨明けが遅く、7月はほとんど雨天か曇天で、風も強く、スバルラインが閉鎖になるときもありました。8月に入ると少しずつ観光客の姿も多くなりました。開山していないことを知らず、登山の準備をしてきてしまった方もわずかにいましたので説明をしてご理解をいただきました。ところが8月の終わりにになると、「こっそり登ってやろう」という人が現れ始めました。本人は

もちろん、万一の場合に救助に行く人達も危険にさらすことになりかねない行為です。登山するなら決められた時期に、決まりを守って楽しく登ってほしいものです。

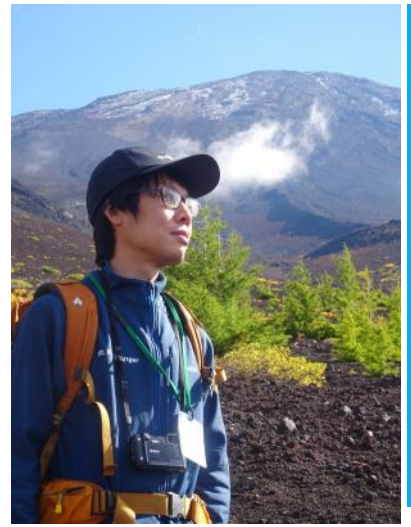
コロナ禍の業務

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度初めの2か月ほど富士山レンジャーの事務所がある富士山世界遺産センターは閉館となり、レンジャーも2班に分かれて時間差で出勤し、7人全員が一度に集まらないような勤務体制での業務となりましたが、巡回業務は通常通り行い、富士北麓地域周辺における自然公園法違反や不法投棄、設備の不具合等の有無を確認しました。また、近隣の小中学校へ出向き、環境学習プログラムを実施しました。



巡回パトロール  
青木ヶ原樹海

## 新任レンジャー自己紹介



### 高橋 法人 レンジャー

これまで北海道や東北地方で野生動物の調査や国立公園の管理に携わってきました。ユーラシア大陸と関わり深い北方系の生物や、多雪環境と触れ合う機会が多かったため、それらとは異なる自然環境を学んでみたいと思います。山梨県に参りました。地理的には昨年生活していたところよりもかなり西側で、暖かそうだなと勝手に想像していましたが、日本一の標高を誇る富士の裾野はそんなに甘くはありませんでした。どうやら寒い地域とご縁は続いていくようです。

## 川や湖の生物について

野生生物の調査に携わってきた中で、特に川や湖に生息している魚類以外の生物に長く関わってきました。魚類以外となるとなかなか思い浮かばないかもしれませんが、面白い姿をしていたり、奇妙な生活をしていたり興味深いグループ

でもありません。赴任したばかりですが、1ページの掲載枠をいただきましたので少しだけご紹介したいと思います。

川や湖など淡水の中には魚類以外に、トンボやゲンゴロウなどの水生昆虫、貝などの軟体動物、エビ・カニなどの甲殻類、ミミズやヒルなどの環形動物、またあまり知られてはいませんがダニ類など色々な種類の生物が生活しています。これらの動物は魚類などのエサになることもありますが、水中の落ち葉や生物の死骸などを食べているものもあり、結果的に有機物を分解し、水環境を維持する役目も担っています。またトンボや蚊の幼虫などは、成虫になると羽が生えて陸上で生活するようになります。こうした水生昆虫は陸上で生活している鳥や動物などにとっても重要なエサになるため、陸の生物圏とも密接なつながりがあります。



イトトンボはヤゴ(幼虫)も細い

奇妙な生活を送っているものとしては、カモなど水鳥に寄生するミズドリビルや、ツクバビルのようにカエルに寄生しているものもいます。これらのヒルは寄生した生物の体液を栄養にしていますが、寄生先の動物が他の水辺に移動するとに伴って、遠く離れた川や湖に分布を拡大することができます。



ツクバビルは深緑色で丸く、一見すると苔に見える

富士山の周辺には、富士五湖のような大きな湖以外にも、小規模な水辺も点在していることがここ2ヶ月ほど生活している中でも見えてきました。私独自の目線では、この富士山周辺の環境を見つめていけたらと思います。

## 世界遺産つながりで

昨年までは、同じく世界遺産に登録されている知床におりました。手つかずの自然が残る知床では、秘境といえるよう

なすばらしいところが数多く残されていますが、反面日本最大の陸上動物であるヒグマが多く、さらに登山道や林道が少ないため、来訪者が安全に楽しめるところが限られているともいえます。私も動物の死体に居付いた熊に突進されたり、登山道中で追い回されるなど何度となく熊と遭遇してきました。

富士山やその周辺地域は古来から信仰の対象として、多くの人々との関わりの中で独自の文化を形成してきたところ。手つかずの自然と関わってきた立場として、多くの人々が親しめる文化的な発展に至るまでには、それは様々な苦労があったことと思います。先人が築いてきた素晴らしい文化を受け継ぎ、多くの人々にそれを感じてもらえるよう、微力ながら富士山の自然環境保全に取り組んでいけたらと考えております。



知床の逆さ富士？ 秘境知床沼からの無名峰

# コロナ対策と冬山登山の安全啓発

今年も例年とは異なり、春先からのコロナウィルスの流行で大きく生活様式が変わった一年になりました。この夏、富士登山に関しても静岡、山梨両県とも登山道を開けることなく夏山シーズンを終了しました。今、季節は秋から冬に向け日々変わってきています。冬はさらに富士山の美しさが際立つ季節です。しかし、厳冬の富士山は、その神秘的な姿とは異なり、想像を絶する寒さと強風に曝され、

	発生件数	遭難者数	死亡	負傷	無事救助	行方不明
2019年度	21件	21件	1件	13件	6件	1件
2018年度	28件	33件	6件	13件	14件	0件

## 山梨県内の山岳遭難発生状況(12月～3月) 山梨県警察HPより

ベテランの登山家でも命を落とす危険な山へと変貌するのです。昨年10月には富士山で軽装の入山者が山頂付近より滑落し、亡くなる事故が起きています。せつかくの登山でも事故が起こっては、何にもなりません。昨シーズンは、発生件数や遭難者も少なくなりましたが、富士山の冬山登山がいかに難しいかを正しく理解しなければ、遭難や事故はなくなりません。

冬季の富士登山は、熟練者であっても急激な天候の変化や、高山病等、予期しない事故に遭わないとは言いきれないのです。

毎年インターネットやテレビ、情報誌等で冬山登山への安全啓発、注意喚起が行われています。3000mクラス以上の冬山における登山は、夏山よりもはるかに厳しく、考えている以上の危険が伴います。特に富士山は、なおさらです。標高は4000mに近いうえ、単独峰であり、太平洋からの風が直接吹きつけます。



陽が昇っても表面はアイスバーン状態

寒さや、降雪だけではありません。写真のような急斜面は、降り積もった雪でアイゼンが無ければ登れなくなるばかりか、山頂に近づくほど雪面はカチカチに凍り、アイゼンやピッケルも刺さらなくなってしまう程の危険な状態になるのです。ましてそんな斜面を下るのは、熟練した経験者でも一瞬にして滑落しかねない危険

な状態です。また山頂の空気は下界の約3分の2と薄いことから高山病の危険性もあり、登山中の体調維持には注意が必要です。

富士山では、2013年より「富士登山における安全確保のためのガイドライン」が制定され、夏山期間以外での富士登山では次の3つのルールが決められています。

1. 万全な準備をしない、登山者の登山禁止
2. 「登山計画書」を必ず作成 提出
3. 登山者として「携帯トイレ」持参のマナー (略)

特に「万全な準備」という言葉にご注意ください。万全の準備とは装備だけでなく、冬山に必要な知識、経験、体力を準備することを指しています。知識では、事前の詳細な登山計画の立案、注意点への確認、高山病への対処方法、また観天望気(かんでんぼうき)の知識が必須です。また知識だけでなく、実際にアイゼンやピッケルを使用する冬山に対する複数の登山経験等、厳冬の富士山においても安全を担保できる一定の経験値が必須です。体力においては、厳冬期仕様の防寒着を着用し、アイゼンの着用にピッケルの携帯、さらに冬山に対応する重量の増えた装備を背負い、終日

登山できる体力が必須です。加えて天候が悪化し、逃げ場も無く、吹き曝しの状態の中でも行動食で栄養補給を行い、行動できる持久力も必須なのです。

もう一つお願いしたいのが、冒頭でも触れた「新型コロナウィルスへの感染予防対策」です。少しでも体調がすぐれない場合、絶対登山はやめてください。ご自身が危険なだけでなく、事故が起こり救助が必要となった場合、助ける側もコロナウィルスへの感染が懸念されます。こうしたことをご理解の上、万全な登山計画と事前の準備、天候の確認に加え、ご自身の体力、力量、体調をよく考え、少しでも難しいと思ったら登山を控えて頂くようにお願いいたします。

富士山レンジャーは、毎年冬季に山梨県警察、山梨県世界遺産富士山課と共同で吉田口登山道の馬返しにて冬山登山者への安全啓発を行い、事故を未然に防ぐ活動を継続して行っております。



吉田口登山道馬返しでの冬山登山啓発の様子

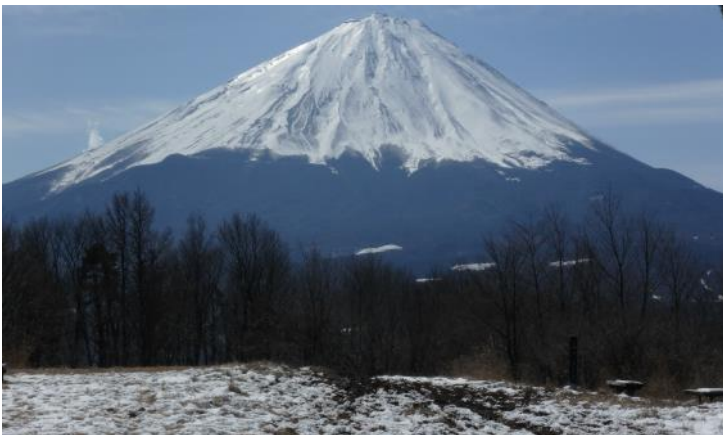
# そぞろ あるき

## 孤高の眺望愛好者列伝・杏



写真①御坂峠方面より。〈…絶頂ニ河口湖ヲ下臨ス 其南ハ富士山ナリ …麓野渺茫ノ中ニ勃起シテ真ニ蒼天ヲ刺ス…「甲斐国志」〉

新型コロナウイルスの影響により開山が見合わせとなった今年の富士山。異例の夏を終え、現在は冬季閉山期間中です。いつもより一層“遠く”感じる富士の頂を仰ぐ日々。吾々が目下立ち会っているのは稀有な「歴史的イベント」の恐らくはほんの入口であり、この経験の全容を理解するには長い時間を要するであろうと考えると、茫洋たる気持ちにもなります。され、あれそんな此度は、これまで出会った、「富士眺望愛好者」ともいべき少々風変わりな方々との一幕を振り返ろうと思います。



写真②雪の三湖台より。富士北面を間近に望む。

「見つめていたい」  
恋する山おじさん

〈某月某日 富士のよく見える峠にて Yさん（仮名）談。一ええ、登れぬとなれば尚恋しくなるのが「山恋者」の性ですねえ。「眺める」っていうのも、要するに心の眼で登っている訳ですから。あの尾根筋をこのルートで、とかつて。何かね、触れることの叶わぬ恋しい相手のようでね、自分の身体の大きさも忘れて抱き付きたくなる時もあります。で、煩惱の焔消えぬまま富士に向い合っ歩いてね、人間界の事なぞ与り知らぬお山に、「心にうつりゆくよしなしごと」を聞いて貰えたよ



写真③三方分山方面より。精進湖の向こうに雲たなびかせ。

うなつもりになっているんですね。一ええ、登りたいなあとは思いますが、山は登ってくれなくて頼んでないし、何度登頂しても山そのものと一緒になれる訳でもない。その意味では“頂”というのは常に飯のゴールです。やっぱり山っていうのは、此方の永遠の片想いだなと思いますね。〉

東屋の「ぬし」と山上の昼食

〈某月某日 富士のよく見える東屋にて Zさん（仮名）と。一昼食にしようとして予定していた東屋には先客が居た。バンダナを巻いた壮年の男性。俎板の上で白菜を手際よく刻み、傍らでは鍋が湯気を立てている。ずっとここに暮ら



写真④本栖湖より。手前から、湖にながれ込んだ溶岩流の跡・青木ヶ原樹海・中景左は側火山の大室山・そして富士。

しているかのような“生活感”に、「こんにちは」ではなく、「お邪魔します」と言ってしまう。無言で領き調理は続く。「晴れて富士山見えてきましたね」と声を掛けると、やおら顔を上げ「見えてきちゃダメなんだよ。覚めちゃうだろ」と仰る。「ええ？」—Zさんの言うには「頂などは山のほんの部分、雲の中の想像の一点でよい。山は根張りが肝要」との事。曰く「湖を挟んで南は富士の溶岩流が迫り、北は御坂山塊が伸ばした尾根をそのまま湖水に浸している—「この辺りは、山の根の張り方が存分に味わえる貴重な場所」であるそうだ。〉

# 山頂から富士を望む

## 「秀麗富嶽十二景」

### 4番山頂 滝子山



(滝子山 山頂にて撮影) 5月

皆さんは富士山が綺麗に見える山頂といえどもどこを思い浮かべますか？富士山周辺の富士五湖エリアだと、三つ峠や竜ヶ岳、石割山などを思い浮かべる方が多いかと思えます。

今回紹介させていただく「滝子山」は富士山から少し離れた大月市にある山で、秀麗富嶽十二景に選定されています。秀麗富嶽十二景の山々は中央線沿いに位置するため、公共交通機関でのアクセスが容易で全ての山から富士山を望むことが出来ます。4番山頂の滝子山は初狩駅と笹子駅の間に位置し、滝が多い滝子沢の源流です。沢のすぐ側が登山道になっているため、滝や溪流の美しい景観、素晴らしい自然を感じる事ができるため、飽きずに歩けると思います。特にオススメしたい時期は春・秋で気候も丁度良く、春にはミツバツツジなどの花、秋には紅葉を楽しみながらのんびりとした登山が楽しめます。

次に、私がこの近辺の登山に行く際に必ず購入している登山のお供を紹介します。

笹子駅から徒歩2分の場所にある「みどりや」で購入できる笹子餅。ほんのりヨモギの香る草餅に上品な甘さの粒あんが入っています。甘すぎない口当たりで、二、三口程で食べられるサイズなので、登山中の休憩時など疲れた状態でも食べやすいです。十個入りと五個入りがありますが、登山のお供におすすめの五個入りは経木の包装が良い雰囲気です。昔、甲州街道第一の難所と言われ、東海道の箱根峠と並び称された笹子峠の茶屋で力餅として



売られていた物が、中央線の開通後は「笹子餅」と名称を改め、車内販売や笹子トンネル手前の笹子駅で売られていました。百年以上の歴史のある名物ですが、現在では販売元のみどりや本店と向かいの工場のみ

限られた場所での購入できません。その日に売れる分しか製造されない「知る人ぞ知る」レアなお菓子です。消費期限もわずか1日のみと日持ちはしませんが、出来立てを味わうことが出来るのです。

そんな名物も楽しみつつ、滝子山に登り、山頂から富士を望んでみてはいかがでしょうか。

笹子駅〜滝子山〜初狩駅コース

(初心者〜中級者向き)

【コースタイム】計6時間半

笹子駅〜(50分)登山口〜(2時間半)滝子山〜(2時間)林道終点〜(1時間)初狩駅

積雪期、冬の朝や雨の次の日は凍結しますのでアイゼン等の装備をしてください。

大月市ホームページ「観光情報」秀麗富嶽十二景 <http://www.city-otsuki.yamanashi.jp/kanko/shurefugaku.html>



案内図 (地図はカシミール3Dを使用)



# 富士北麓の動物 今年の子（ねずみ）年ですよ

2020年（令和二年）も残りわずかとなりました。今年は、コロナ禍のために自粛三昧の年でした。ところで今年の干支が「ねずみ」と言うことを覚えていきますか。ここでは富士北麓の野生のネズミのお話をしたいと思います。



みなさんは、ネズミと聞くとどのようなイメージを持っていますか？どなたがアニメの「トムとジェリー」、斉藤惇夫の「冒険者たち（ガンバの冒険）」、「いなかのネズミと都会のネズミ」など、ネズミが登場するアニメや物語、昔話はたくさんあります。しかし、人様の食べものを横取りすることなど害獣扱いされ忌み嫌われることも多々あります。「ネズミ大好きー」という人は少ないかもしれません。

が、私たちに身近で人との関わりが深いがために、あるときは人気者、またあるときは嫌われ者になるのもネズミなのです。

さて、ひとことでネズミと言ってもたくさんの種類が生息しています。日本には、陸生哺乳類が122種、このうち二ホンリスやヤマメも含めたネズミ目は27種、一般的にネズミといわれるネズミ科は19種です。また、ネズミの仲間をその生活スタイルから大きく二つに分けると、「家ネズミ」と「野ネズミ」に分けることができます。家ネズミとは、人のそばで生息することによって繁栄してきたネズミたちで、ドブネズミ、クマネズミなどです。これら家ネズミは、人間の食糧を失敬するだけでなく、荷物に紛れ込んで人の移動とともに世界中に広がっていきま

野ネズミたちは、主に木の実や草の種を食べます。秋と言えば実りの秋、森ではドングリなど木の実がたくさんできます。じつは野ネズミは、冬眠を

しません。しかし、食糧事情の厳しい冬はまもなくやってきます。そこで来たるべき冬を乗り越えるために、野ネズミたちはせつせと食糧を蓄えます。その方法は、あちこち小分けにして、主に地面に穴を掘って埋めて隠しておきます。そして冬の間には、それらを探し出して少しずつ消費しながら温かい春まで生きながらえます。しかし、全ての貯蔵場所を覚えていくわけではなく、忘れることもあるようです。ちよつと話はそれますが、「ネズミ算」という言葉をご存知でしょうか。ネズミは子沢山でも知られています。確かに食糧事情が良く、外敵がいなければどんどん増えていくでしょう。しかし、ヒメネズミをはじめとする野ネズミたちは、季節変化により食糧事情が変化するだけでなく、キツネなどの肉食動物に捕食されるため、生態系のバランスが保たれている限り簡単に数が増えることはありません。なかでも天敵中の天敵といえるのはフクロウです。フクロウは有能なネズミハンターで、とある富士山麓のフクロウの研究では、その獲物の80%が野ネズミ

という結果もあります。つまり、たくさん産むのはたくさん食べられるからなのです。

さて、話を元に戻します。秋に冬の食糧を蓄える野ネズミですが、埋め隠した本人が、それらを忘れてたりフクロウに食べられたりして、結果的に遺された木の実や草の種は、翌年の春に芽を出しそこから森が育っていきます。また、ドングリは、ただ落ちただけでは成長できず、埋めてもらうことより成長の確率が飛躍的に上がることが分かっています。しかも樹海のような複雑な地形では、ドングリが自力で転がることもままならず、ネズミたちに運んでもらうことで移動のチャンスにも恵まれます。ミズナラなど植物はおいしい木の実をたくさん作り、一部はネズミに提供し、一部は運ばれそして埋めてもらっているのです。つまり野ネズミと植物は共生関係にあるのです。ネズミと聞くとどうしても汚い害獣というイメージがつきまといがちですが、森の中では肉食動物の胃袋を支え、なおかつ森を作ることにも一役買っているけなげな存在です。みなさんが森でネズミに出会うことがあったら、「ガンバレ」と一言かけてやってください。ただし野ネズミは夜行性で昼間は巣穴で寝ています。

# 富士山世界遺産センターだより14号

富士山世界遺産センターでは、富士山の世界遺産登録時にイコモスより示された課題である「下方斜面における巡礼路の特定」を行うため、継続的に富士山の道の総合的な調査を行っています。その成果の一部として、富士山の信仰拠点を結ぶ道の調査について報告します。

## 夏の企画展について

当センターは令和二年度の夏に企画展「富士山と鎌倉道―御山の入口・新倉―」を開催し、吉田(富士吉田市上吉田)へ繋がる道筋のうち、北西の甲府盆地方面と吉田を結んだルートについて考察しました。都と甲斐国府をつないだ古代官道「甲斐路」に

起源するその道は「鎌倉道」「鎌倉海道」と呼ばれました。河口湖畔の通行が容易になる以前は、東岸の河口や浅川(ともに富士河口湖町)から尾根を越えて吉田を目指したようです。

本企画展では、吉田への西側からの玄関口であった新倉(富士吉田市)に注目しました。

新倉のほとんどの家は正福寺・如来寺・大正寺の「三箇寺」を中心とする真宗門徒であり、それぞれ協力しながら行事を行ってきました。これら三箇寺には、真宗の僧が富士山を訪れるために立ち寄った事を示す記録や、六十年に一度の庚申御縁年に配った刷り物の版木、富士山中に安置されていた聖徳太子騎馬像(現在は毎年八月に富士山へ上げられる)等、富士山と関わりの深い資料が現存しています。



新倉周辺地図 (富士山世界遺産センターリーフレット)



新倉北方より富士山を望む

また、北口本宮富士浅間神社の大祭で担がれる御山神輿は、江戸時代前半までは新倉村が用意していたといえます。これらの資料や由緒は、新倉が富士山へ詣でるための通過地点であったことと深い関係があったと思われると思います。

企画展の内容をまとめたリーフレットをセンターのホームページ上で公開しております。ぜひご覧ください。

(<http://www.fujisan-whc.jp>)

## 企画展「富士山と養蚕―信仰の側面から―」

◇日時 令和2年12月25日(金)～令和3年2月23日(火)

※1月26日(火)は休館

◇会場 山梨県立富士山世界遺産センター 南館 富士山ステーション

◇内容 養蚕が盛んになった地域では、浅間神社が養蚕の守護神として信仰されたこともありました。信仰の厚かった地域に伝来した資料から富士信仰の一端を紹介します。



## 富士山の噴火

富士山は、これまで幾度となく、噴火を繰り返してきました。今回は、富士山噴火史の中でも有名な「貞観の噴火」と「宝永噴火」二つの噴火について紹介します。

### ● 貞観の噴火

貞観の噴火は、八六四年〜八六八年にかけて富士山の北西斜面で起こった噴火です。この噴火では、大量の溶岩が流れ、「本栖湖」と「せの海」と呼ばれる、二つの湖にも流れ込みました。特に「せの海」には大量の溶岩が流れ込み、そのほとんどが埋め尽くされ、二つの湖に分断され、現在の「西湖」と「精進湖」二つの湖に分断されたと考えられています。

そして、貞観の噴火によって流れた大量の溶岩は、その後冷えて固まりました。その上に草木が生え、長い年月を経てきた森が「青木ヶ原樹海」です。この噴火が起こった時に、占いの結果で朝廷から甲斐国(山梨県)にも浅間明神を祀り、噴火を鎮めるよう命じられ、山梨県側にも浅間神社が建立されました。その神社が富士河口湖町にある「河口浅間神社」と言われています。

### ● 宝永噴火

宝永噴火は、江戸時代中期の一七〇七年に起こった今のところ歴史上最後の噴火です。一般的に、大規模な噴火の前には、大きな地震が発生すると言われています。宝永噴火の四九日前にも「宝永東海・南海地震」というマグニチュード八以上と考えられる地震が発生しています。この噴火によって三つの火口ができ、第一火口は山頂火口より大きく、火口底の東側に宝永山ができました。

この噴火では大量の火山灰が降りました。その重みで火口に近い地域の家屋は倒壊し、至る所で火災が発生し、火山灰は江戸の町や現在の千葉県にも降ったという資料が残っています。

## 神秘的な富士山

富士山は、その日の天候や時間帯によって様々な姿を見せます。今回は、神秘的な二種類の富士山「ダイヤモンド富士」と「パール富士」と呼ばれている富士山の姿について紹介します。

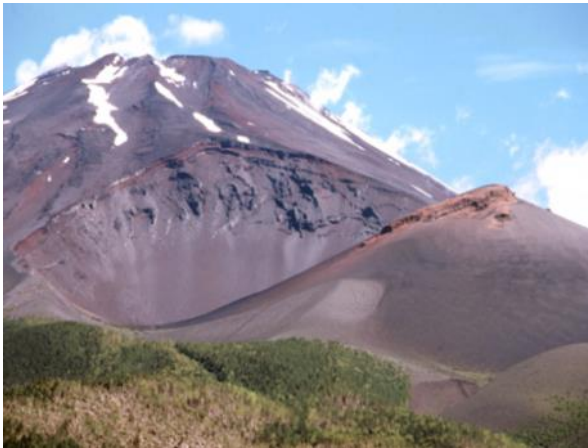
### ● ダイヤモンド富士

ダイヤモンド富士とは、富士山の山頂部分に太陽が重なって見られる時の姿です。名前の通り、富士山の山頂にダイヤモンドが輝くのように太陽が輝いており、まさに絶景です。絶景故にいつでも見られるわけではありません。ダイヤモンド富士は、日の出もしくは日没時に見ることができません。時季については場所によって異なりますが、冬至の

時季や安定した天候の二月頃が見るチャンスと言われています。写真は、田貫湖から撮影されたダイヤモンド富士です。ダイヤモンド富士の撮影スポットはこの他にも「山中湖」が有名です。

### ● パール富士

パール富士とは、富士山の山頂に満月がかかった時の富士山の姿です。ダイヤモンド富士と違い、満月という条件も重ならなければならぬので、ダイヤモンド富士よりも見ることが難しいと言います。写真は、山中湖から撮影された紅富士の上に満月がかかったパール富士です。



【宝永山と宝永火口】



写真提供：山梨観光推進機構

【ダイヤモンド富士】



【パール富士】

## 富士山環境学習支援プログラム

富士山ボランティアセンターでは、多くの方が富士山とふれあい、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的として、山梨県富士山レンジャーによる富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼は一切必要ありません。各種研修に是非ご活用ください。



実施日	原則として平日
実施時間	9時30分～16時の間（プログラムは30分～）
受講料	無料
対象	各種団体、企業等、および児童、生徒、学生（教員向け研修もあります）
定員	最大25名まで（感染症対策のため、グループ分けなどをお願いする場合があります）

### 《申込方法》

原則として希望日の1か月前までにお申込み下さい。

申込書に必要事項をご記入いただき、Fax、E-mail、または郵送にてお送り下さい。

その他、詳細については富士山ボランティアセンターHPにてご確認ください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>



### 《注意事項》

- ・ 事前の打合せや下見等が必要になる場合があります。
- ・ 申込み、問合せおよび打合せは責任者が行なって下さい。旅行業者等による代行はお受けできません。



出張講座の様子



富士山世界遺産センターでの学習会

## 富士山憲章（行動規範）

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくこと目的としています。

### ■編集・発行 富士山ボランティアセンター （富士山憲章山梨県推進会議）

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1  
（富士山世界遺産センター北館内）  
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114  
E-MAIL: [fujisan@eps4.comlink.ne.jp](mailto:fujisan@eps4.comlink.ne.jp)

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newslatter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/regist.html>